

令和6年度 事業報告

概 要

本財団は、令和6年度に設立55周年を迎えた。設立の背景を振り返ると、昭和の高度成長期における急速な都市開発の中で、京都の文化観光資源の存続が危ぶまれる状況が生じていた。これに対し、貴重な京都市域の文化財を後世に継承・保存することを目的として、昭和44年12月に本財団が設立された。以来、関西の財界をはじめ、多くの国民から寄せられた寄附金を基金として活用し、京都市や国、関係諸団体と連携を図りながら、文化観光資源の保護と活用、文化財愛護思想の普及啓発活動などの公益事業を推進してきた。

令和6年度の文化観光資源保護事業においては、建造物や美術工芸品を含む未指定文化財の修理事業への助成を、また、京都の四大大行事をはじめとする伝統行事や芸能の保存に関しては、執行に伴う経費の助成を行い、保護事業者の財政的負担の軽減を図った。さらに、財団設立55周年記念事業として、新たにクラウドファンディングを活用し、伝統行事・芸能の後継者育成を目的とした助成金を創設し支援を実施した。これにより、伝統行事・芸能を次世代へ引き継ぐための必要性和課題を広く社会に伝えることができた。

文化観光資源保護普及啓発事業では、財団設立55周年事業として「京の郷土芸能のつどい」をロームシアター京都メインホールにて開催した他、文化財に関する講演会や公開事業を実施した。また、文化庁予算を活用して次世代への伝統文化の継承を目的とした「伝統文化親子教室」事業を行った。さらに、広報活動としてイラスト入りポスターの制作や、財団ウェブサイトおよびSNSを活用した情報発信に力を入れ、多様な形で文化財保護の重要性を周知した。

会員事業では、京の三大祭の観覧招待や非公開文化財の特別公開への招待を通じて、会員サービスの充実に努めた。また、法人運営においては、公益財団法人としての情報公開を徹底し、公益法人制度に関わる法令および定款に則り適正な運営を行った。募金活動に関しては、各事業の実施を進めるなかで会員をはじめ幅広い層へ支援と協力の呼びかけを行い、財団の公益目的達成へ向けた活動の継続を図った。

個別事業の詳細については、以下のとおり。

I. 文化観光資源保護事業（公益目的事業1）

1. 助成事業

（1）対象事業

令和6年度に実施された下記の保護事業で、当財団が定める「文化観光資源保護事業助成金交付対象選定基準」に該当する事業

1）文化財所有者、管理者等の行う文化観光資源保護事業に対する助成

文化財の所有者、管理者等が行う文化財や観光資源である建造物、美術工芸及び史跡、名勝、天然記念物の保全を行う各事業

2-1）伝統行事、伝統芸能の保存及び執行に対する助成

伝統行事、伝統芸能を保存伝承する保存団体が記録作成、後継者の養成、衣装・用具、収蔵・施設の修理新調を行う各保護事業並びに執行・公開を行う各事業

2-2）伝統行事、伝統芸能次世代承継事業に対する助成【新規】

伝統行事、伝統芸能を保存伝承する保存団体が行う、次世代承継に資する各事業

3）文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備に対する助成

寺院、神社等の環境保全、文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備を行う自然環境の各事業

4）文化観光資源施設の整備に対する助成

文化財所有者や管理者等が行う文化財や観光資源を災害から守るための防災施設の設置・改修、収蔵施設等の設置・整備を行う文化観光資源を保護するための各事業

（2）申請の応募，受付

ウェブサイト等で申請の応募を行い、事前相談（3月1日～31日）及び申請書の受付（4月30日提出期限）を行った。

（3）専門委員会の開催、助成対象の選定

○日時 令和6年12月6日

○出席者 尼崎博正委員、伊東史郎委員、小椋純一委員、奥平俊六委員
矢ヶ崎善太郎委員 以上5名

○決議事項

第1号議案 令和6年度文化観光資源保護事業助成対象の選定について

1）文化財所有者、管理者等の行う文化観光資源保護事業

2-1）伝統行事、伝統芸能の保存及び執行事業

2-2）伝統行事、伝統芸能の次世代承継事業

3）文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備事業

（4）助成金の交付決定、事業報告

専門委員会において、選定された64件について、12月16日付けで助成額を決定（理事長決定）し、各申請者に対し助成金確定通知を送付するとともに保護事業報告書の提出（3月末期限）を求め、助成金の交付を行った。内訳は以下のとおり。

助成申請件数 64件 助成額合計 6,112万円

（内 訳）

1) 文化財所有者、管理者等の行う文化観光資源保護事業 5件

（美術工芸品）

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	助成額	備 考
春浦院(右京区)	障壁画修理	213	70	
良正院(東山区)	木造阿弥陀如来立像修理	363	70	
迎称寺(左京区)	木造童子形立像修理	340	70	
地藏寺(左京区)	木造地藏菩薩坐像修理	283	70	
法輪院(左京区)	木造阿弥陀如来立像修理	497	70	
小 計	5 件	1,696	350	

2-1) 伝統行事、伝統芸能保存及び執行事業 45件

○伝統行事・芸能保存事業 2件

単位：万円

保護事	事業内容	事業費	助成額	備 考
(公財)祇園祭山鉾連合会	祇園祭山鉾修理事業	639	213	
京都五山送り火連合会	五山送り火各山火床整備事業	1,550	380	
小 計	2 件	2,189	593	

○伝統行事・芸能執行事業 43件

・伝統行事執行事業 19件

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	助成額	執行日等
葵祭行列協賛会	葵祭行列の執行	2,958	675	5月15日
祇園祭協賛会	祇園祭山鉾巡行 //	9,950	2,050	7月
京都五山送り火協賛会	京都五山送り火点火 //	2,340	650	8月16日
時代祭協賛会	時代祭行列 //	2,170	623	10月22日
嵯峨お松明保存会	嵯峨お松明行事 //	220	20	3月15日
賀茂競馬保存会	賀茂競馬 //	954	25	5月5日

藤森神社駄馬保存会	藤森駄馬 〃	360	25	5月5日
糺の森流鏑馬神事保存会	糺の森流鏑馬 〃	810	25	5月3日
鞍馬山竹伐り会式保存会	鞍馬竹伐り会 〃	146	13	6月20日
花脊松上げ保存会	花脊松上げ 〃	120	25	8月15日
広河原松上げ保存会	広河原松上げ 〃	200	25	8月24日
雲ヶ畑松上げ保存会	雲ヶ畑松上げ 〃	70	20	8月24日
小塩上げ松保存会	小塩上げ松 〃	14	5	8月24日
烏相撲保存会重陽社	烏相撲 〃	92	10	9月9日
西之京瑞饋神輿保存会	西之京瑞饋祭 〃	330	25	10月1～4日
北白川伝統文化保存会	北白川高盛御供 〃	18	6	10月5・6日
日野裸踊保存会	日野裸踊 〃	22	6	1月14日
鞍馬火祭保存会	鞍馬火祭 〃	919	200	10月22日
桂川舟渡し保存会	桂川舟渡御 〃	64	10	4月21日
小 計	19 件	21,757	4,438	

・伝統芸能公開事業 24件

単位:万円

保護事業者	事業内容	事業費	助成額	執行日等
蹴鞠保存会	蹴鞠の公開	330	20	1月・2月 他
壬生大念仏講	壬生狂言 〃	247	15	2月・10月 他
神泉苑大念仏狂言講社	神泉苑狂言 〃	156	15	11月3～5日
千本ゑんま堂大念仏狂言保存会	千本ゑんま堂狂言 〃	52	15	2月・5月
嵯峨大念仏狂言保存会	嵯峨狂言 〃	70	15	4月10月
久世六斎保存会	久世六斎 〃	56	15	8月
中堂寺六斎会	中堂寺六斎 〃	45	15	8月
梅津六斎保存会	梅津六斎 〃	65	15	8月
小山郷六斎念仏保存会	小山郷六斎 〃	77	15	8月
千本六斎会	千本六斎 〃	45	15	8月
壬生六斎念仏講中	壬生六斎 〃	55	15	8月
嵯峨野六斎念仏保存会	嵯峨野六斎 〃	36	10	8月
西院六斎念仏保存会	西院六斎 〃	12	4	8月
桂六斎念仏保存会	桂六斎 〃	34	10	8月
上鳥羽橋上鉦講中	上鳥羽六斎 〃	30	10	8月
西方寺六斎念仏保存会	西方寺六斎 〃	50	10	8月

川上やすらい踊保存会	川上やすらい花 〃	43	13	4月14日
今宮やすらい会	今宮やすらい花 〃	130	13	4月14日
玄武やすらい踊保存会	玄武やすらい花 〃	87	13	4月14日
上賀茂やすらい踊保存会	上賀茂やすらい花 〃	50	13	5月15日
久多花笠踊保存会	久多花笠踊 〃	36	11	8月24日
八瀬郷土文化保存会	八瀬赦免地踊 〃	143	20	10月13日
(公財)松ヶ崎立正会	松ヶ崎題目踊 〃	32	10	8月16日
番匠保存会	番匠儀式 〃	32	10	1月2日
小 計	24件	1,913	317	

2-2) 伝統行事、伝統芸能次世代承継事業 13件

単位:万円

保護事業者	事業内容	事業費	助成額	備考
賀茂競馬保存会	賀茂競馬 子供用草鞋製作	10	10	
藤森神社駄馬保存会	駄馬 乗馬、鞍の装着等の講習及び体験会	32	15	
広河原松上げ保存会	松上げ 麻縄しめ方講習会	23	15	
烏相撲保存会	烏相撲 小学生向けパンフレット作製	6	6	
西之京瑞饋神輿保存会	瑞饋神輿 子ども神輿提灯修理	31	15	
鞍馬火祭保存会	火祭写真集作成	60	15	
千本えんま堂大念仏狂言保存会	狂言 子ども用刀及び大盃新調	14	14	
嵯峨狂言クラブ	狂言クラブ35周年記念誌作成	90	15	
桂六斎念仏保存会	六斎 子ども用衣装製作	15	15	
小山郷六斎念仏保存会	六斎 練習用獅子頭の修繕	7	7	
子ども六斎教室連絡会	こども六斎教室成果発表会	5	5	
今宮やすらい会	やすらい踊 子ども用衣装・備品製作	13	13	
松ヶ崎題目踊及びさし踊、妙法送り火点火	踊の正装用備品費製作及び講演会開催	17	15	
小 計	13件	323	160	

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全事業 1件 単位:万円

保護事業者	事業内容	事業費	助成額	備考
(公財)京都古文化保存協会(上京区)	文化財周辺松喰虫等駆除事業	763	254	
小 計	1 件	763	254	

単位:万円

合 計	64件	28,641	6,112	
-----	-----	--------	-------	--

Ⅱ. 文化観光資源保護普及啓発事業 (公益目的事業2)

1. 「京の郷土芸能のつどい」【財団設立55周年事業】

(1) 概 要

日 時：令和7年2月22日(土)

会 場：ロームシアター京都メインホール

出演団体：壬生六斎念仏講中、久世六斎保存会、千本ゑんま堂大念佛狂言保存会、京都鬼剣舞、有田神楽団(広島県・芸北神楽)

入場者数：約1600人

共催：京都市

後援：京都新聞、京都市教育委員会、KBS京都、
公益社団法人京都市観光協会、公益社団法人全日本郷土芸能協会、
明日の京都文化遺産プラットフォーム

協力：文化庁、近畿日本鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、京阪ホールディングス株式会社、京の風流踊振興会、京都六斎念仏保存団体連合会、久多花笠踊保存会、今宮やすらい会

監修：八木透(佛教大学教授、京都民俗学会会長、世界鬼学会会長)

(2) 展示①：ユネスコ無形遺産登録記念「京の風流踊」

「京都の六斎念仏」パネル展示(京都六斎念仏保存団体連合会)

「やすらい花」パネル及び傘の実物展示(今宮やすらい会)

「久多花笠踊」パネル及び笠の実物展示(久多花笠踊保存会)

展示②：世界遺産「古都京都の文化財」登録30周年記念

世界遺産「古都京都の文化財」紹介パネル展示

「京都の文化財を描こう」子ども絵画コンクール受賞作品展

(3) 関連事業

①「壬生六斎念仏を体験しよう」

日 時 令和6年12月15日(土)(於:朱雀第三小学校)

参加者 京都市教育委員会ジュニア観光大使他

実 演 壬生六斎念仏講中 講師 原田一樹

②講演会

日 時 令和6年2月22日(土) 午前 (於:ロームシアター京都会議室1)

参加者 北区女性会

講 演 「風流踊りについて」 講師:山中崇裕

③「京の郷土芸能のつどい」子どもたちの招待事業

日 時 令和6年2月22日(土) 午後 (於:ロームシアター京都会議室1)

参加者 京都市教育委員会ジュニア観光大使親子

明日の京都文化遺産プラットフォーム「子ども絵画コンクール」

受賞者親子

(4) 広報

①チラシ・ポスターの配布

- ・近畿日本鉄道(主要各駅にポスター貼付、チラシ配架)
- ・JR西日本(各駅配布広報誌「西Navi」11月号～2月号広告掲載、主要各駅にポスター貼付、チラシ配架)
- ・京阪電鉄(主要各駅にポスター貼付、チラシ配架)
- ・京都市観光協会(デスティネーション会議でブース出展し、会議専用チラシを配布、時代祭有料観覧席でチラシ配布)
- ・京都総合観光案内所でのチラシ配架
- ・京都古文化保存協会(「非公開文化財特別公開」社寺でのチラシ配布)他多数
- ・岩手、広島、東京でもチラシ、ポスターを配布した

②記事・広告掲載

- ・令和6年12月27日付産経新聞京都版に財団1面広告内に記事広告
- ・「京の冬の旅」パンフレット広告掲載、『別冊旅の手帖 京の冬の旅』に記事掲載
- ・『月刊京都12月号』に広告掲載と招待券プレゼントと記事掲載
- ・京都新聞に招待券プレゼントと記事掲載
- ・ロームシアター京都「イベントカレンダー2月号」掲載

③ラジオ

令和6年12月15日 ABCラジオ『竹内弘一のなにがナンでも』

監修者の八木透氏、ゲストの桂南光氏が出演し、「京の郷土芸能のつどい」についてパーソナリティの竹内氏とトーク

(5) 効果 アンケート結果

①チケット販売状況

- ・発売日：令和6年10月22日
- ・販売箇所：ロームシアター京都チケットカウンター、京都コンサートホールチケットカウンター、ロームシアター京都・京都コンサートホールオンラインチケット
- ・令和7年1月上旬予定販売枚数終了（当日券の販売無）

②チケット委託販売

- ・サンケイツアーズ 106枚買取り

③会場での寄附依頼（チャリティ販売）

「京の郷土芸能のつどい」特製絵はがき6枚組と財団設立55周年記念手ぬぐいをチャリティとして販売した。

④アンケート

- ・総数574名（紙：520名、WEB：54名） 回答率 35.8%
- ・回答者の年代はおよそ70%が60代以上であり、公演の評価は99%の方が「良かった」、「非常に良かった」と回答。回答者のおよそ9割の方が財団の活動を知らない人であった。

⑤新規会員

- ・「京の郷土芸能のつどい」終了後2週間で、新規会員として15名が加入した。

2. 文化観光資源公開事業の実施

京都の文化財や観光資源の愛護思想の普及啓発に努めることを目的に実施している。当年度は、下記の普及啓発事業を実施した。また、他の民俗芸能のイベントに対して運営協力するとともに、参加者に対し、当財団の事業活動への支援を呼びかけた。

(1) 文化財講座

①「京都を彩る伝統文化」

日 時 令和6年4月24日（水）

会 場 華道家元池坊 2階ホール

内 容 第1部 講演「華道家元池坊の歴史と文化財」

講師 池坊中央研究所 主任研究員 細川武稔氏

第2部 いけばなデモンストレーション

講師 華道家元池坊総務所 堀江道祐氏

参加者数 67名

② アスニー特別講演会 「京都三山の植生変遷と五山送り火」

日 時 令和6年10月4日（金）
会 場 京都市生涯学習総合センター（京都アスニー）
講 師 京都精華大学名誉教授 小椋純一氏
参加者数 約200名

（2）イベント運営協力、普及啓発活動

①嵯峨大念仏狂言特別講演イベント

日 時 令和6年4月13日（土）
会 場 嵐山昇龍苑（京都市右京区嵯峨）
内 容 嵯峨大念仏狂言の公演に合わせて、保存会と連携し商業施設で文化財保護の呼びかけと、「京の郷土芸能のつどい」の周知を行った。

②「京の民俗芸能フェスティバル」京都駅前イベント

日 時 令和6年11月3日（祝）
会 場 京都駅前広場
内 容 嵯峨大念仏狂言、玄武やすらい、嵯峨野六斎念仏、千本えんま堂大念仏狂言の公演に合わせて、保存会と連携し京都駅前で文化財保護の呼びかけと、「京の郷土芸能のつどい」の周知を行った。

③嵯峨大念仏狂言特別公演イベント

日 時 令和6年11月10日（日）
会 場 嵐山昇龍苑（京都市右京区嵯峨）
内 容 嵯峨大念仏狂言の公演に合わせて、保存会と連携し商業施設でブースを設け、文化財保護の呼びかけと「京の郷土芸能のつどい」の周知を行った。

④京都鬼剣舞特別公演イベント

日 時 令和7年3月23日（日）
会 場 嵐山昇龍苑（京都市右京区嵯峨）
内 容 京都鬼剣舞の公演に合わせて、保存会と連携し商業施設で文化財保護の呼びかけを行った。

3. 刊行物の発行

「京の郷土芸能のつどい」パンフレット 2000部

4. 広報活動の積極的推進

（1）ウェブサイトによる発信事業

Webサイトを通じて、京都の文化観光資源や実施事業、活動紹介、「会報」寄稿文などの情報を発信し、内容の充実と更新の頻度を上げ、京都の文化観光資源の

保護や活動への協力と支援を広く呼びかけた。

(2) SNSを活用した情報発信

Facebook、Instagram、X（旧Twitter）及びnoteによるSNSでの情報発信を続けた。季節の伝統行事・伝統芸能の紹介や、文化財に関するイベントの紹介など、多くの人が文化財に関心を持ち、興味を持っていただけるようなタイムリーな情報を発信し、適宜更新した。

(3) 財団広報活動の強化

本財団の認知度の向上を目指して、イラストによりポスターを作成し、京都市内の各社寺、博物館、美術館、京都市営地下鉄構内などに掲示した。同イラストのクリアファイルを作成し、「京の郷土芸能のつどい」の入場者に財団の活動の広報を行った。また、京都総合観光案内所「京なび」にリーフレットを配架、京都新聞事業社主催京都検定講習会での資料配布などを行った。

財団事業実施の際は、各報道機関に対し広報発表を行うとともに、時宜に応じた取組に関わる取材を依頼するなど積極的な広報活動に努めた。

5. 伝統行事・芸能功労者表彰事業

京都市域に保存伝承されている伝統行事・芸能の保存と継承に長年にわたり貢献されてきた下記の12名の方々を功労者として、伝統行事・芸能功労者表彰要綱に基づき京都市長、理事長名にて表彰した。表彰式は令和7年3月21日ウェスティン都ホテルにて、令和6年度第6回通常理事会終了後に行った。

〈令和6年度被表彰者（順不同・敬称略）〉

桃井 秀幸（烏相撲保存会重陽社）	伊 邨 廣実（西ノ京瑞饋神輿保存会）
澤井 豊泉（壬生大念仏講）	堀川 達也（久世六斎保存会）
坂本 典子（中堂寺六斎会）	塩津 祐輔（上烏羽橋上鉦講中）
榎木 信一（木野愛宕神社烏帽子着保存会）	
今井 繁市（石座神社奉賛会）	島崎 仁雄（三栖・炬火会）
竹谷 武雄（小山二ノ講）	高見 昌秀（御香宮獅々若会）
山田 博彦（上賀茂紅葉音頭保存会）	

6. 文化観光資源に関する事業の関係機関との連携、後援事業

財団活動を広く周知するために、京都市や他団体と連携した普及啓発に関する事業を展開した。また、(1)～(8)のとおり文化観光資源の所有者、管理者及び保存団体等からの依頼を受け文化観光資源保護を目的とした各種事業の後援を行った。

- (1) ふるさと文化財の森 「森が支える日本の技術2024公開セミナー」の後援
11月2日～12月8日 主催：公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会
文化財保護に関わる専門技術の普及を目的に、実演、展示及び体験等が行われた。
- (2) 「京の民俗芸能フェスティバル」の後援
11月3日 主催：嵯峨大念佛狂言保存会
京都駅ビル駅前広場に特設舞台を設置し、民俗芸能の公演を行った。
- (3) 世界遺産「古都京都の文化財」登録30周年記念行事の後援
主催：明日の京都 文化遺産プラットフォーム
① 「京都の文化財を描こう」子ども絵画コンクール
応募期間7月10日～8月30日、表彰式10月14日
② 10月14日 第14回フォーラム「京都の文化財と災害史」
- (4) 第59回「京の冬の旅」の後援
1月1日～3月20日 主催：公益社団法人京都市観光協会
京都の冬季観光客誘致対策を目的に、非公開文化財の特別公開等が行われた。
- (5) 年中行事「鉦始め・木遣音頭」の後援
1月2日 主催：番匠保存会
建築儀式「鉦始め」を行い「木遣音頭」を披露する儀式が行われた。
- (6) 第22回「子供六斎教室成果発表会」の後援
1月19日、1月26日 主催：京都こども六斎教室連絡会
「京都の六斎念仏」を伝承正しく練習する「こども六斎教室」が成果を発表し、それを見て学びあうことを目的とした発表交流会が行われた。
- (7) 「千年の心得 嵯峨大念佛狂言の舞台裏！」の後援
2月8日 主催：嵯峨大念佛狂言保存会 共催：京都「千年の心得」推進協議会
冬期の京都観光の普及のため、地域の民俗芸能を広く観光コンテンツとして造成するため採択された新規事業。
- (8) 「千年の心得 冬の夜間拝観と伝統芸能鑑賞」の後援
2月16日、2月23日 主催：新阿弥(いまあみ) 共催：京都「千年の心得」推進協議会
冬期の京都観光の普及のため、地域の民俗芸能を広く観光コンテンツとして造成するため採択された新規事業。

7. 文化庁委託事業の実施

伝統文化親子教室「京の伝統文化を体験しよう！-京の文化財体験教室-」

文化庁の委託事業「伝統文化親子教室事業」を受託し、次世代を担う子供たちに京都の伝統文化を体験・習得できる機会を設けた。

- 第1回目 7月21日（日） オリエンテーション・「祇園祭を体験しよう」
於）下京中学校成徳学舎 協力）公益財団法人祇園祭山鉾連合会、公益財団法人放下鉾保存会、公益財団法人南観音山保存会
親子29組参加
- 第2回目 8月24日（土） 「大念仏狂言」をやってみよう
於）清凉寺狂言堂 協力）嵯峨大念仏狂言保存会
親子20組参加
- 第3回目 10月6日（日） 「蹴鞠」をやってみよう
於）白峯神宮 協力）蹴鞠保存会
親子24組参加

Ⅲ. 会員事業

1. 「会報」の発行

「会報」は、第140、141、142号の3号を各1,500部発行した。京都の文化財や観光資源に関する有識者からの寄稿や事業活動などを詳しく掲載し、すべての会員及び文化財保護関係機関、文化観光資源所有者・管理者、伝統行事・伝統芸能保存団体に送付した。

No.（発行月）	主な目次
No.140（6.8.1付）	特集「久多花笠踊り—京都、近江の文化の要衝に花開いた優雅な灯籠踊り—」京都市文化観光資源保護財団 村田典生、保護財団の活動
No.141（6.12.1付）	特集「まつりと民俗芸能の現状と課題」佛教大学歴史学部教授 八木透、保護財団の活動
No.142（7.3.1付）	特集「木の建築が語ること—伝統建築にみられる木の使われ方について 木遣音頭にことよせて」京都工芸繊維大学助教 松田剛佐、保護財団の活動

2. 会員事業の実施及び文化観光資源保護普及啓発事業への招待

会員規程に定める会員を対象とした以下の会員事業を計画し、文化観光資源保護普及啓発事業に招待等を行った。

（1）京の三大祭観覧招待

葵祭	（5月15日）	京都御苑建礼門前	観覧者数	256名
祇園祭前祭	（7月17日）	京都市役所前	観覧者数	149名
時代祭	（10月22日）	京都御苑建礼門前	観覧者数	190名

（2）祇園祭・京都五山送り火記念「扇子」を希望者に進呈

＊寄附者への御礼の品として送付。

(3) 「清水寺 ご住職ご法話と拝観」招待事業

実施日 4月10日(水) 参加者数 49名

(4) 「北野天満宮 宝物殿ともみじ苑」招待事業

実施期間 5月1日(水)～5月31日(金) 申込者数 109名

(5) 「風俗博物館」招待事業

実施期間 11月1日(金)～11月30日(土) 申込者数 101名

(6) 京都古文化保存協会主催

「令和6年度第60回京都非公開文化財特別公開」招待

実施期間 10月26日(土)～12月8日(日) 申込者数 141名

(7) 京都市観光協会主催

「第59回京の冬の旅 非公開文化財特別公開～秘められた京の美をたずねて～」招待

実施期間 1月10日(金)～2月28日(金) 申込者数 158名

(8) 財団設立55周年記念「オリジナル日本手ぬぐい」の進呈

送付者数 87名

(9) 財団設立55周年記念「京の郷土芸能のつどい」招待事業

送付者数 106名(1名様席38名 ペア席34組68名)

3. 寄附の取組み及び会員登録状況

(1) 寄附者の顕彰

文化観光資源保護協力者感謝状贈呈要綱に基づき、法人3団体及び個人1名の高額寄附者に対して理事長名にて感謝状を贈呈した。贈呈式は令和7年3月21日 ウェスティン都ホテルにて、令和6年度第6回通常理事会終了後に行った。

文化観光資源保護協力者感謝状贈呈者(敬称略)

(法人の部) 東レエンジニアリング株式会社(滋賀県大津市)

株式会社二期(東京都渋谷区)

株式会社ブッシュクロフィード(東京都渋谷区)

(個人の部) 伊勢 初枝

(2) 会員登録状況（令和7年3月31日現在）

会員区分	法人	個人	計
特別会員	1 8 7	1 6 0	3 4 7
普通会员	2 4	2 3 2	2 5 6
賛助会員	1 2	9 0	1 0 2
計	2 2 3	4 8 2	7 0 5

注) 会員規程による会員区分に基づいている。

会員数の推移

	R2	R3	R4	R5	R6
会員数	6 4 0	5 9 3	6 2 2	6 1 6	7 0 5
新規会員数 (内数)	1 6	4 5	9 6	8 8	9 1

IV. 法人運営

1. 募金活動

(1) 募金状況

事業活動の基盤強化と市民募金運動の推進として、実施事業を通じて個人寄附の呼びかけを行うとともに、会員に対し追加寄附の協力を呼びかけた。

寄附状況 11,165,400円(R5年度 8,785,698円)
(うち906,500円は次年度に積立る。)

京都市文化観光資源保護基金令和6年度末残高

1, 989, 548, 003円

(2) 一般寄附獲得の取組み

- ・令和3年度から金融機関と「遺贈・寄附等への協力に関する協定」を締結（三井住友信託銀行、京都銀行、三菱UFJ信託銀行）し連携に努めている。
- ・財団のファン・新規会員の拡充につとめるため、活動案内パンフレット「ご寄附のお願い」を作成し、事業実施時等に配布する他、京都総合観光案内所「京なび」での配架や、京都新聞事業社主催の京都検定講習会会場での配布などを行った。
- ・「京の郷土芸能のつどい」で財団ブースを設置してグッズ販売による募金活動を行うとともに、来場者向けの寄附のお願いチラシを作成、配布し幅広い層に対

し財団のPRを行った。

・会員向けに従来の寄附のお願いに加え、12月に「寄附月間キャンペーン」を行った。

(3) 特定寄附 クラウドファンディングの実施【新規】

民俗芸能の後継者育成を支援する目的に特化した特定寄附金を令和6年6月から令和7年3月まで募集を行った。その一環として、THE KYOTO（京都新聞社）にてクラウドファンディングのプロジェクトを立ち上げ、8月9日から11月8日にかけて目標額100万円を掲げ実施した。全国に向けてクラウドファンディングの告知を行うとともに、財団の活動や京都の伝統行事・伝統芸能の周知を図った。

結果、クラウドファンディングも目標額を集めることができ、特定寄附金は190万6500円集めることができた。

なお、集まった資金は、民俗芸能の後継者育成事業を行っている保存会や団体の実施する事業に対して新たに助成金を設け、交付した。

2. 会議開催状況

(1) 理事会

第1回みなし理事会（令和6年5月14日開催）

議案 定款第17条第2項に基づく評議員会への決議の省略による提案

(1) 理事選任の件

(2) 評議員選任の件

出席等 提案書に対し、理事10名(退任者3名を除く)全員の書面による同意の意思表示、監事3名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第2回通常理事会（令和6年6月5日付開催）

議案

(1) 令和5年度事業報告の承認について

(2) 令和5年度計算書類の承認について

(3) 特定費用準備資金の取崩しについて

(4) 特定寄付金の募集について

(5) 令和6年度常勤理事の役員報酬の承認について

(6) 評議員会の招集について

報告事項 職務執行状況の報告について

出席等 理事 11 名、監事 2 名

第 3 回みなし理事会（令和 6 年 10 月 25 日付開催）

議案 定款第 17 条第 2 項に基づく評議員会への決議の省略による提案

（1）評議員選任の件について

出席等 提案書に対し、理事 13 名全員の書面による同意の意思表示、監事 3 名全員から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第 4 回みなし理事会（令和 6 年 11 月 20 日付開催）

議案 定款第 17 条第 2 項に基づく評議員会への決議の省略による提案

（1）理事選任の件

出席等 提案書に対し、理事 12 名(退任者 1 名を除く。)全員の書面による同意の意思表示、監事 3 名全員から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第 5 回みなし理事会（令和 6 年 11 月 29 日開催）

議案 定款第 17 条第 2 項に基づく評議員会への決議の省略による提案

（1）常務理事の選任について

出席等 提案書に対し、理事 12 名(退任者 1 名を除く。)全員の書面による同意の意思表示、監事 3 名全員から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第 6 回通常理事会（令和 7 年 3 月 21 日開催）

議案

- （1）令和 7 年度事業計画及び収支予算（案）、並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認について
- （2）特定費用準備資金の積立てについて
- （3）顧問の選任について

報告事項 職務執行状況の報告について

出席等 理事 8 名、監事 2 名

（2）評議員会

第 1 回みなし評議員会（令和 6 年 5 月 22 日開催）

議案 定款第 17 条第 2 項に基づく評議員会への決議の省略による提案

- (1) 理事選任の件
- (2) 評議員選任の件

出席等 提案書に対し、評議員 21 名(退任者 4 名を除く)全員の書面による同意の意思表示があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

第 2 回定時評議員会（令和 6 年 6 月 25 日付開催）

議案

- (1) 令和 5 年度事業報告の承認について
- (2) 令和 5 年度計算書類の承認について
- (3) 令和 6 年度常任理事の役員報酬について

報告事項 令和 6 年度文化観光資源保護事業助成申請相談状況について

出席等 評議員 18 名、監事 2 名

第 3 回みなし評議員会（令和 6 年 11 月 26 日開催）

議案 定款第 17 条第 2 項に基づく評議員会への決議の省略による提案

- (1) 評議員選任の件

出席等 提案書に対し、評議員 24 名（退任者 1 名を除く。）全員の書面による同意の意思表示があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

第 4 回みなし評議員会（令和 6 年 11 月 29 日開催）

議案 定款第 17 条第 2 項に基づく評議員会への決議の省略による提案

- (1) 理事選任の件

出席等 提案書に対し、評議員 25 名全員の書面による同意の意思表示があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

(3) 監事会（令和 6 年 5 月 17 日開催）

議案 令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの業務及び会計一件

出席 監事 2 名、立花代理、専務理事及び事務局職員 2 名

監査意見 (1) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

(2) 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していると認める。

(3) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

3. 役員の異動

(1) 第1回みなし評議員会による承認（5月22日付）

就任	理事	草木 大	京都市文化芸術政策監
	理事	横井 雅史	京都市観光協会事務総長
	理事	前田 隆行	日本生命保険相互会社常務執行役員
退任	理事	砂川 敬	京都市文化芸術政策監
	理事	奥井 拓史	公益社団法人京都市観光協会専務理事
	理事	岩崎 貢	日本生命保険相互会社常務執行役員
就任	評議員	磯橋 輝彦	京都府旅館ホテル生活衛生同業組合理事長
	評議員	森 清顕	清水寺執事教学部長
	評議員	志風 公士	三井住友信託銀行株式会社理事京都支店長
	評議員	久保 善昭	京都織物卸商業組合副理事長
退任	評議員	小野 善三	京都府旅館ホテル生活衛生同業組合理事長
	評議員	森 孝忍	清水寺法務部長
	評議員	柳 義彦	三井住友信託銀行株式会社理事京都支店長
	評議員	細尾 真生	京都織物卸商業組合副理事長

(2) 第3回みなし評議員会による承認（11月26日付）

就任	評議員	藤實 無極	本願寺 執行長
退任	評議員	安永 雄彦	本願寺 執行長

(3) 第4回みなし評議員会による承認（11月29日付）

就任	理事	山本ひとみ	京都市文化芸術政策監
退任	理事	草木 大	京都市文化芸術政策監

(4) 第5回みなし理事会による承認（11月29日付）

就任	常務理事	山本ひとみ	京都市文化芸術政策監
----	------	-------	------------

4. 登記事項

理事並びに評議員の変更登記

理事	砂川 敬、奥井 拓史、岩崎 貢	6月6日（辞任登記）
理事	草木 大、横井 雅史、前田 隆行	6月6日（就任登記）
評議員	小野 善三、森 孝忍、柳 義彦、細尾真生	6月6日（辞任登記）
評議員	磯橋輝彦、森 清顕、志風公士、久保善昭	6月6日（就任登記）

理事の変更登記

理事	草木 大	12月11日（辞任登記）
理事	山本ひとみ	12月11日（就任登記）

評議員の変更登記

評議員 安永 雄彦

12月11日(辞任登記)

評議員 藤實 無極

12月11日(就任登記)

5. 行政庁への届出・提出事項

令和5年度事業報告書等に係る提出

6月25日付 提出

変更の届出(補正)の提出

7月16日付 //

理事・評議員変更の届出

1月8日付 //

年度開始に伴う事業計画書の提出について

3月28日付 //